

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子供の居場所作り事業 (第3回笑う門にはハッピーカムカム) だがしやG (子供の居場所作り) 設備充実
事業主体 (連絡先)	信州Gプロジェクト 長野県長野市若里7-7-2 オフィスリンク
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,892,766円 (うち支援金: 1,465,000円)

事業内容

- <第3回こども祭>
- 令和元年7月15日(月) 来場者数 延べ700人
会場→中野市民体育館
- こども縁日(水てっぽう作り限定100名、コマ遊び、積み木、木製鉄砲、パトカー体験、ゆるキャラ、児童のパフォーマンス、お笑いプロレス、流しソウメン300食提供、各お店出店)
- フードドライブ、子供食堂のPR
- だがしやGの設備充実
(エアコン設置、照明器具取替)



【第3回ハピカム写真】

【目標・ねらい】

- ①記憶に残る一日作り
- ②子供～大人の出番作り
- ③人と人の「つながり」
- ④子供たちの笑顔を生み出す

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 平成30年第2回フェス来場者数延べ550名→令和元年第3回フェス来場者延べ700名の約130%。
- フードドライブを行い、JA 中野・イオン中野店・中野部会郵便局などの協力により、昨年を大きく上回る2885品の品物が集まり、子供食堂、シングルマザー、児童施設へと手渡す事ができました。衣類やカバン、学生服などは、「だがしやG」に無料コーナーを設置し、喜んで頂いています。また北信州エリアの子供食堂8団体が協力しあい、300食以上の流しソウメンを提供する事ができ、子供食堂PR、各食堂との「つながり」を作る事ができました。
- だがしやGの設備改修により、室内環境が改善され、子供の宿題やワークショップ、また高齢者のサロンを8月から開始して、様々な活動に利用されている。

※自己評価 【 A 】

- 【理由】
- ・水てっぽう作り・流しソウメンなど新たな企画を盛り込み、皆さんに喜んで頂きました。
 - ・昨年より、参加者が増加
 - ・だがしやGの役割が、各市町村・団体のつながる場所として進化する事ができました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加者より「自分の地域でも祭をやりたい」という声を頂いているので中野市以外の各市町村でも展開していきたいと考えています。

こども祭を開催する事により、各団体・地域・人と人が「つながり」はじめています。お互いが協力しあい、子育てがしやすい地域作りを実現していきます。

だがしやGの取り組みにより、各市町村・ボランティア団体・個人など見学や打ち合わせに来るなど地域貢献に対しての活動意識が高まり、団体活動の支援につながっています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある